

口之津小学校 学校だより



希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和6年1月16日

5年度 第13号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

もっと！チャレンジ3学期 本年もよろしくお祈りします

新しい年を迎えました。しかし、年頭から未曾有の災害や大事故に心を痛めています。1月9日に第3学期始業式を実施しましたが、「おめでとう」のあいさつはせず、「災害等で悲しんだり、困っていたりする人に心を寄せることができる子になってほしい。」と伝えました。

3学期は、年度の仕上げの学期です。ここでの「あとひとがんばり」が成果となります。このことから、3学期は「もっと！チャレンジする3学期」という合言葉で、がんばるようにしたいと思います。具体的には次の内容です。

- ① 進んであいさつ・返事
- ② 考える・話し合う・発表する
- ③ 感染症予防と進んで運動

保護者・地域の皆様には、本年度も子どもたちの育成について、一層の御協力をお願いします。

C・Sだより⑥

ふるさと教育の成果を発表 ふるさと教育推進事業中間発表会

1月12日（金）に、県教育委員会指定の「小中高が一体となったふるさと教育推進事業」中間発表会を実施しました。この研究は、ふるさとを舞台に系統的なカリキュラムと小中高の連携について研究を進め、「ふるさとの未来を担う人材」を育成することを目的としています。当日は、教職員だけでなく、学校運営協議会、地域学校協働本部の皆様にも参加をいただきました。

本校では、4月から生活科、総合的な学習の時間を中心にふるさとを教材にした単元開発・実践に取り組んでいます。特に2学期からは、積極的に地域に出かけ、体験から学ぶことで「ふるさとへの愛着と誇り」を醸成できる取組を進めてきました。研究主任の寺田教諭が、口之津っ子がどのように学び、教職員がカリキュラム開発をどう進めたかを具体的に発表しました。1年生から6年生までの授業の様子や学んだ結果として作成した資料を見ていただき、その進捗状況を伝えることができました。

県教委からの指導助言では、口之津小・中学校の取組が「知る」ことを徹底したことと系統性を大切にしていることを評価していただきました。また、課題として、カリキュラムを検証し口之津の活性化に結び付けてほしいということ、小中高の連携を双方向にすること、研究を楽しみ、語り合っしてほしいとの指導を受けました。本発表は、6年度秋を予定しています。引き続き、子どもたちは口之津を学び続けます。



口之津地区 学校運営協議会・地域学校協働本部

南島原市教育委員会 学校教育課
生涯学習課



コミュニティ・スクール (学校運営協議会を有する学校)



南島原市立口之津小学校
Kuchino elementary school
希望の丘で、本物の口之津っ子を育てます



南島原市立口之津中学校



①学校運営の基本方針
②学校運営・教育活動
③その他必要な事項



口之津地区 学校運営協議会

栗田幸隆会長 以下 19名の委員

役割 学校運営や運営に必要な支援に関する協議を行う

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ②学校運営について、教育委員会または校長に意見する
- ③教職員の任用に関して、教育委員会に意見する



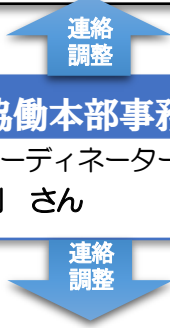
協議事項 (R5年度)
口之津地区で育てたい子ども像
「くちのつモデル」カリキュラム作成



口之津を学び、好きになり、誇りをもつ子どもの育成 ふるさと教育の実践



地域学校協働本部事務局
地域と学校をつなぐコーディネーター
事務局長 末續 義則 さん



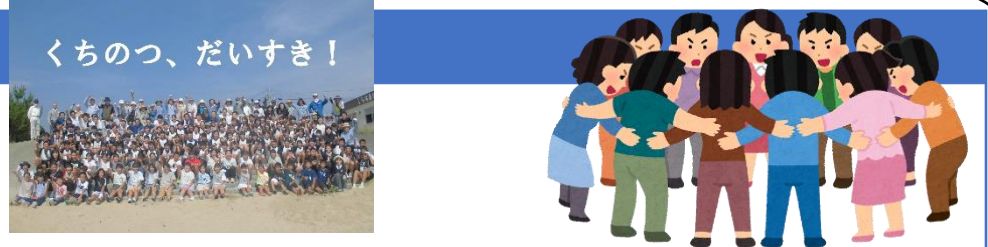
長崎県立口加高等学校

- ・「くちのつモデル」カリキュラム作成
- ・授業連携

口之津地区 地域学校協働本部 賛同団体 30団体

役割 地域と学校が連携・協働して学校内外の活動を行う

- ①口之津を活性化させる活動
- ②口之津小・中学校における教育活動支援
- ③独自の体験活動等



社会教育委員	青少協	子ども会	民生児童委員	小学校PTA	中学校育友会	自治会長会	みなとオアシス	口加高等学校	海上技術学校
学校運営協議会	保護司会	少年補導員	食生活改善推進員	婦人会	文化協会	スポーツ推進員	南島原警察署	南島原消防署	口之津保育園
たまみねこども園	商工会口之津地区	社会福祉協議会	J A島原雲仙	口之津郵便局					